

目次

- 「公民『館』として責任と役割の他に」…………… 1
- 「まなびの心 かがやく人生」を、いつまでも
石川県民大学校・大学院修了証書交付式が挙行されました…………… 2
- いしかわの魅力を再発見しよう！
「ふるさとモット学び塾」…………… 2
- 石川県民大学校能登校 主な講座 …………… 3
- 視聴覚ライブラリーより…………… 3
- “出会い”(21) …………… 4
- お知らせ…………… 4
- T o p i c s…………… 4

生涯学習センター だより



ISHIKAWA LIFELONG LEARNING CENTER INFORMATION

平成 26 年 11 月 21 日発行／石川県立生涯学習センター 〒920-0935 金沢市石引 4-17-1 石川県本多の森庁舎 TEL. 076-223-9571
 生涯学習センター ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/shakyo-c/>

「兼六園周辺文化の森ミュージアムウィーク」主催行事より (H26. 10. 4㊕-10. 12㊗)



北陸新幹線パネル・トキ剥製展示



体験教室(木の実で作る工作)



スペシャル講演会

「マナビフェア in 本多の森」より (H26. 10. 31㊕-11. 1㊕)



地域公民館の作品展示



緑陰講座 in 本多の森



ハンドベル演奏

やかた 公民『館』として責任と役割の他に

石川県公民館連合会 会長 関戸正彦



石川県内には中央館・地区館・分館を合わせて公民館が311館あります。そのほとんどが地区館として位置づけられ、様々な活動・事業を展開していますが、館の運営等は市・町立公民館の他に、金沢市のような市補助金と地元負担で運営している館など、全国的にも様々な運営方法で経営されています。

それぞれの館には60年余の歴史があり、一概に判断できませんが、時代の要請と公民館の役割・責任に基づいてきちんと運営していることだけは間違いのない事実であり、県公民館連合会としては、これからも生涯学習の拠点、防災・減災の拠点として、しっかりとした歩みは続けていくつもりではありますが、地域・地区の実態等について調査・検討していきたいと思っています。

また、公民館は、人づくり・地域づくり・町づくりをめざす生涯学習のために人が集う「館」としてはもとより、防災・減災の拠点としての役割の他、学び合う歓びを提供する公民「歓」、もの見方や人生に影響を与える「観」、感性を豊かにする「感」、人づくりとリーダーのみきを育てる「幹」、地域と行政を結ぶ「間」、そして、地域の絆を結び強い輪を創造していく公民「環」など、実に多くの役割があり取り組みがあります。まさに、地域の皆さんと一緒に汗をかいていく公民『汗』でなければなりません。

当然、公民館は生涯学習センターとの連携も大切なことです。お互いの役割をしっかりと認識し、相乗効果を高めるため頑張っていきたいものです。

「まなびの心 かがやく人生」を、いつまでも ～石川県民大学校・大学院修了証書交付式が挙行されました～

石川県民大学校は平成2年6月に開校以来、多様な学習機会を県民の方々に提供しており、これまでに県民大学校を修了された方は延べ1万4千人を超えました。

今年度は、5月24日(土)午後1時30分より石川県本多の森庁舎第2会議室において、平成25年度修了証書交付式を挙行いたしました。

交付式では、平成25年度修了生620名(大学校修了生585名、大学院修了生35名)に修了証書が交付され、学長である谷本正憲知事からの式辞、米田県議会副議長と遠田市町教育長会副会長の祝辞のあと、修了生の代表挨拶がありました。

式典のあと、石川県公立大学法人 石川県立大学学長 熊谷英彦氏をお迎えし、「タマネギと涙の研究でイグ



ノーベル賞をもらいました」と題して記念講演が行われ、修了生をはじめ多くの県民の方々にご来場いただき盛況となりました。

『石川の教育振興基本計画』の基本理念は、“未来を拓く心豊かな人づくり”です。県民一人一人の生涯にわたる「学び」により、心豊かでたくましく生きる力を身につけ、積極果敢に未来を切り拓く人づくりをめざしています。それぞれの学びのなか、修了の日を迎えられた皆様、本当におめでとございました。



いしかわの魅力を再発見しよう！ ～「ふるさとモット学び塾」～

「ふるさとモット学び塾」は、子どもから大人まで県民一人一人がふるさとへの愛着と誇りを持つために、石川の文化や歴史、自然等について知識を深めるふるさと学習です。今年度、2年目を迎えました。

①ふるさとふれあい講座「本多の森会場」

生涯学習センター(石川県本多の森庁舎)を会場にした専門家による石川の文化・歴史・自然等をテーマとした全10回の講座です。

前田家第18代当主 前田利祐氏による講演を皮切りに、小田禎彦氏(加賀屋相談役)、浅野邦子氏(箔一代表取締役会長)、四柳嘉章氏(石川県輪島漆芸美術館館長)、島 謙司氏(国指定重要文化財「志摩」館長)等の専門の講師による、前田家の歴史、おもてなしの心、世界農業遺産、石川の民謡・金箔・漆文化、舳倉島海民の歴史、南北朝内乱と北加賀の合戦、金沢のお茶屋文化、海外へ雄飛した加賀藩士をテーマにした興味



本多の森会場 第1回 前田利祐氏の講演

深く魅力的な講演です。知っているようで知らなかった石川の深い魅力を再発見できる講座です。

②ふるさとふれあい講座「現地コース」

石川の歴史や文化、自然に直接触れることで、ふるさと石川の魅力を深めていただける講座です。石川県内各地の史跡、偉人ゆかりの地を訪ね、貴重な文化財などを目にしながら、専門の講師から直接、歴史や文化について奥深い解説がお聴きいただけます。現地訪問を通してしか体験できない魅力的な講座です。



現地コース 第3回 能登国分寺跡にて

今年度は、「木曾義仲と倶利伽羅合戦の地を訪ねて」、「芭蕉が歩いた加賀路を訪ねて」、「古代能登の王墓と寺跡を訪ねて」、「九谷焼発祥の街を訪ねて」、「前田利家と妙成寺・山の寺寺院群を訪ねて」の5つのテーマで、七尾、羽咋、中能登、高岡、津幡、小松、大聖寺、山中、山代の各地を訪ねています。

③ふるさと発見出前講座

石川の文化・歴史・自然等をテーマとした、県内の小中学校、公民館への出前講座です。各学校・公民館の求めに応じた専門の講師を派遣しています。

加賀百万石と前田家、加賀一向一揆、世界農業遺産、石川の生き物、加賀野菜、地域の歴史、文学者、伝統文化（漆工芸、和太鼓、輪島塗、九谷焼）等の地域に密着した幅広いテーマが取り上げられています。各講師の分かりやすく熱のこもったお話しに子どもから大人まで幅広い年齢の受講者から好評をいただいています。



金沢市立大野町小学校での出前講座の様子



「ふるさとモット学び塾」の様子をインターネットでご覧いただけます。詳しくは当センターホームページで！

～石川県民大学校能登校 主な講座～

＜能登文化講座＞7月5日(土) 講師 正司 花江 氏

「今日を大切に」と題して、少女歌手の座長をはじめ、実の姉妹で組んだ漫才トリオ「かしまし娘」の三女として全国巡業した永い芸人生活の中で体験された、哀歓・生甲斐等について、多くのユーモアを交え講演されました。披露された数曲の歌声は、澄み張があり若々しく驚かされました。会場は終始笑いに包まれ、奥深い話等に、満員の聴衆は魅了されました。



＜いしかわを知る講座＞6月～10月 6回

本県の歴史・文化・自然・産業等についての学習です。

＜あすなろ悠々塾 in 能登＞5月～11月 6回

生涯学習の成果を発表する県民企画の講座です。

＜古文書手習い塾・解読講座＞9月～10月 8回

身近な古文書解読につながる講座です。

☆能登分室では講義室・調理室・作業室・多目的室をお貸ししています。

講演・会議・調理・陶芸等に使えます。

詳しくは、能登分室(0768-26-2360)または生涯学習センターまでお問い合わせ下さい。

視聴覚ライブラリーより

視聴覚ライブラリーの映像ソフトって、市販品と何か違うの？

・「疎開した40万冊の図書」から

10月の「兼六園周辺文化の森ミュージアムウィーク」期間中、当センターで「秋の映画上映会」として13本の映画を上映しました。その中の1本であるドキュメンタリー映画「疎開した40万冊の図書」は、太平洋戦争末期に、石川県立図書館長も務めたこともある、当時の日比谷図書館長・中田邦造氏が中心となり、図書館の蔵書や民間の貴重な図書を疎開させ戦火から守ったという史実から、図書文化の大切さを説いた作品でした。

この映画の中で、図書館の無かった福島県飯館村が、図書館を作るためにインターネットで本の寄贈を呼びかけ、全国から送られてきた5万6千冊の絵本で絵本文庫を作ったというエピソードが紹介されていました。

・市販映像ソフトは、善意の寄贈ができない？

全国の人々の善意の素晴らしいエピソードなのですが、「図書」を「映像ソフト」に、「図書館」を「視聴覚ライブラリー」に置き換えたらどうなるでしょうか。

実は「映像ソフト」は、図書を始めとする他の著作物と取り扱いが異なり、「市販ソフトを寄贈してもらってライブラリーで利用する」ということが出来ません。

著作権法では第38条に「営利を目的としない上演等」について規定されており、「公表された著作物」は同条第4項により、営利目的で無く、相手からお金をもらわない、つまり無償であれば、その複製物(本やCDなど)を貸し出すことが出来る、とあります。市販の音楽CDや本などは、タダであれば権利者の許可をとらなくても貸出して良い、ということです。

しかしこの条文には、「映画の著作物は除く」という条件が付いています。ここでいう「映画の著作物」とは、「映像ソフト」全般のことを指します。

映像ソフトについては次の第5項に規定があり、「公立の視聴覚ライブラリーや公立図書館など」に限り、「相当額の補償金を支払って権利処理した映像ソフト」であれば、無償の貸出が出来る、ということになっています。

映像ソフトには「頒布権」(有償・無償を問わず、複製物を譲渡もしくは貸与する権利)というものがあるため、このような別の決まりが設けられているのです。

一般向けに市販されている映像ソフトは、「家庭内で個人が視聴すること」を条件に販売されており、「補償金を支払って権利処理」されたものではありません。そのため、これを視聴覚ライブラリー等へ寄贈されても、使用することが出来ない訳なのです。

東日本大震災の後、被災した視聴覚ライブラリーに映像ソフトの寄贈の申し出があったけれども、断らざるを得なかった、という話も伝え聞いています。

・視聴覚ライブラリーのソフトは、一般向けとは違います

視聴覚ライブラリーでは、貸出や上映などの権利処理がされ、補償金支払い済みの(価格に補償金の上乗せされている)映像ソフトを購入しています。もし紛失や破損した場合、市販されているものでは代用できません。皆さんでお使いいただくものですので大切に扱っていただき、万が一紛失や破損したときは、必ず視聴覚ライブラリー担当者にご相談ください。

(文責：学習情報グループ 山本)



出会いと生涯にわたるつき合い

「あすなろ悠々塾」講師 後藤 朗

この世に生まれてから素晴らしい出会いがいくつも有りました。とりわけ、「伴侶」には数限りない世話をしてもらえ、私の寿命の延長という恩恵も受けました。他に「モーツァルト」や「芭蕉」との出会いからは自分の人生に深く広い影響を享受しました。

「伴侶」とは40年ですが、「モーツァルト」とは50年のつき合いです。楽器の演奏は出来なくて聴くだけですが、「モーツァルト」の縁で出会った25年来の仲間と600余りある全曲を鑑賞できそうです。これはLPレコードからCD、LD、DVDにいたる録音録画再生機器の進歩と共に歩めた戦後生まれの者の幸運と感謝しています。多数の解説書も読めて、モーツァルトの曲の魂は、澄み渡った青空のような「清朗さ」にあり、その精神は真理を修める「知慧」とそれを体現する「徳」にあったことを知りました。私の「モーツァルト好き」は娘から孫にまで伝わったようで、そこからまた新しい出会いが生じてくる気配です。

「芭蕉」とのつき合いは30年になります。『奥の細道』は、『百人一首』と同じ小編ですが、『万葉・古今・新古今』の「三大和歌集」や『枕草子』、『源氏物語』、『平家物語』などに匹敵する優れた作品です。「芭蕉の心」に長くつき合っているうちに、多数の古典や和歌を読むことができ、歴史や仏教をはじめ、「雪月花」を本とする日本の文化全般に限りない興味を抱くようになりました。

お知らせ


平成26年度石川県民大学校大学院
「石川の博士」論文発表会並びに記念講演

来る平成27年1月、当センターにおいて平成26年度石川県民大学校大学院「石川の博士」論文発表会並びに記念講演を開催します。ぜひご参加ください。

◇日時／平成27年1月24日(土) 13:30～15:40
◇会場／石川県本多の森庁舎2階 第2会議室
◇日程／13:30～14:30 論文発表会
平成26年度石川県民大学校大学院修了生代表者による論文・企画書の発表
14:40～15:40 記念講演
「血流美人を目指して」
講師 金沢医科大学総合内科学
准教授 赤澤 純代 氏

☆申込不要、受講無料

◆お問い合わせ
社会教育グループ
TEL 076-223-9572 FAX 076-223-9585





平成26年度(第45回) いしかわビデオ作品コンクール **作品募集**

題材は自由! 日々の活動やふるさと等をテーマに、あなたの想いを「実際に役立つ視聴覚教材」として、映像で表現してみませんか

◇募集期間／平成26年12月1日(月)から平成27年2月2日(月)まで
◇応募資格／県内に在住もしくは勤務する個人またはグループ
◇募集部門／①教材部門(制限時間なし)
・小・中学校・高等学校等で活用する教材
・公民館等の生涯学習施設で活用する教材
・学校紹介ビデオ
②一般部門(おおむね7分以内)
・上記①以外の作品

◆お問い合わせ(応募先)
石川県視聴覚教育協議会事務局
(学習情報グループ内)
TEL 076-223-9573 FAX 076-223-9585

～ Topics ～

生涯学習センターでは、平成26年10月4日(土)から12日(日)までの「兼六園周辺文化の森ミュージアムウィーク」期間中に、講演会、体験教室、ミニコンサート、映画会など25のイベントを開催しました。また10月31日(金)・11月1日(土)・いしかわ教育の日には「マナビフェア in 本多の森」を開催しました。

今回ご紹介しましたもの以外にも、多彩な講座や事業、DVD等視聴覚教材貸出、作品展示などを行っています。ぜひ当センターホームページにアクセスしてご確認ください。



ミニコンサート「金沢芸妓の舞と横笛」

| | |
|--|--|
| <p>石川県立生涯学習センター 〒920-0935 金沢市石引4丁目17-1 石川県本多の森庁舎2階</p> <p>・総務グループ 076-223-9571 ・社会教育グループ 076-223-9572 ・学習情報グループ 076-223-9573 ・FAX 076-223-9585</p> <p>・まなびすルーム TEL 076-223-9574 FAX 076-223-9004</p> <p>URL http://www.pref.ishikawa.lg.jp/shakyo-c/ (PCもしくはスマートフォンでご覧下さい)</p> | <p>石川県立生涯学習センター 能登分室 〒929-2392 輪島市三井町洲衛10部11番1 能登空港ターミナルビル4階</p> <p>TEL 0768-26-2360 FAX 0768-26-2361</p>   |
|--|--|

いしかわ物語
平成27年3月14日
北陸新幹線金沢開業
東京-金沢 2時間28分